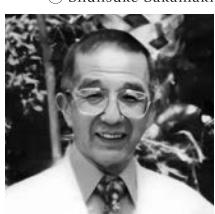


團 伊玖磨と大中 恩は、昭和17年（1942）に時を同じくして東京音楽学校作曲科へ入学しました。在学中、二人は日本語による歌曲を中心に行なうと、仲間内でお互いの作品を批評し合うなどして創作の糧としました。卒業後も、二人は引き続き歌曲の作曲に軸を置きながら、活躍の場を拡げていきます。今回の企画展では、團 伊玖磨と大中 恵の「日本歌曲」に焦点を当て、日本歌曲の発展・普及の軌跡を追います。会期中、團 伊玖磨と大中 恩の作品を堪能できる特別コンサートも開催します。



© Shunsuke Sakamaki



写真提供：大中 清子

だん い く ま

## 團 伊玖磨 大正13年（1924）～平成13年（2001）

大正13年（1924）4月7日生まれ。昭和20年（1945）東京音楽学校を卒業。声楽作品を中心に創作活動の裾野を広げ、昭和27年（1952）、歌劇『夕鶴』で毎日音楽賞をはじめとする数々の賞を受賞し、大きな成功を収める。昭和28年（1953）に芥川也寸志、黛敏郎とともに「三人の会」を結成し、自作の管弦楽曲を初演した。

声楽作品には歌曲集《わがうた》、《五つの断章》のほか、〈ぞうさん〉〈やぎさんゆうびん〉〈花の街〉などがあり、現在でも広く歌われている。創作の範囲は歌曲に留まらず、オペラ、交響曲、映画音楽などにわたって多くの作品を遺した。随筆家としても活躍し、『パイプのけむり』をはじめとする著作も多い。

おおなか めぐみ

## 大中 恵 大正13年（1924）～平成30年（2018）

大正13年（1924）7月24日生まれ。昭和20年（1945）東京音楽学校を卒業。声楽作品を中心とした創作活動を本格的に始動するとともに合唱団「P・Fコール」を結成し、合唱指導にも力を入れていく。昭和30年（1955）、中田喜直や磯部淑らと「ろばの会」を結成。こどものための歌を数多く作曲し、『チュウちゃんが動物園に行ったお話を』で文化庁芸術祭大賞を受賞した。

声楽作品には歌曲集《五つの抒情歌》、《五つの現代詩》のほか、〈サッちゃん〉、〈いぬのおまわりさん〉、〈おなかのへるうた〉、合唱曲『月と良寛』、『日曜学校のころ』などがある。

土田 藍（つちだ あい）という筆名で作詩も手がけ、作曲と作詩の双方から歌曲の創作に携わった。

# 特別コンサート 團 伊玖磨と大中 恵の世界



## 櫻井 愛子（さくらい あいこ）ソプラノ

東京藝術大学大学院及びウィーン国立音楽大学大学院修士課程リート・オラトリオ専攻修了。令和4年度奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第1位、木下記念賞（金）・中田喜直賞。第24回ライツツィヒ・J.S.バッハ国際コンクール第5位（ファイナリスト）。第26回ブーラームス国際コンクール声楽部門（ベルチャッハ）第2位。公益財団法人明治安田クリティオプライム文化財団2020年度海外音楽研修費用の助成対象者。藝大卒姉妹デュオAINANAメンバー。公式ホームページ www.aikosakurai.com



## 紀野 洋孝（きの ひろたか）テノール

大分県出身。東京藝術大学卒業。日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金奨学生として同大学修士課程を修了。同大学院博士課程修了。博士号（音楽）取得。日本トスティ歌曲コンクール2015第2位・秋篠日本歌曲賞受賞。令和元年度奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第2位。これまでに、ベートーヴェン『第九』、ミサ・ソレムニス、ヘンデル『メサイア』、モーツアルト『レクイエム』などでソロを務める。CD『Re-灑廉太郎作品集-』『Be-別宮貞雄歌曲集-』好評発売中。現在、麻布中・高等学校専任教諭。



## 田中 雅史（たなか まさふみ）バリトン

岩手大学教育学部芸術文化課程卒業。東京藝術大学声楽科を経て、同大学院修士課程声楽専攻を首席修了。併せて大学院アカンサス音楽賞、小川尚子賞海外派遣奨学金を受賞。ウィーンにて短期研修を積む。令和2、3年度公益財団法人村野学芸財団奨学生。令和5年度奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第1位、中田喜直賞、木下記念賞（金）受賞。日本トスティ歌曲コンクール2023にて第4位、秋篠日本歌曲賞受賞。これまでに『第九』、『メサイア』、『ドイツ・レクイエム』等でソリストを務める。



## 山田 大智（やまだ たいち）バス・バリトン

東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学時に安室賞、卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁芸術家在外研修員としてイタリアに留学。第29回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位、撰津音楽祭・リトルカメリアコンクール第1位ならびに大阪府知事賞、宝塚ベガ音楽コンクール第1位ならびに兵庫県知事賞を受賞。日本オペラ協会公演やNISSAY OPERAなど、国内外の主要オペラに多数出演。また宗教曲のソリストとしても様々なコンサートに出演し、活躍の場を広げている。日本オペラ協会会員。



## 尾池 亜美（おいけ あみ）ヴァイオリン

東京藝術大学卒業。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。日本音楽コンクール第一位、RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、カール・フレッシュ国際コンクール第2位他、受賞歴多数。アジア、ヨーロッパでオーケストラやアンサンブルと共に演奏し、リサイタルを開催。アミティ・カルテット、ゼフィルス・ピアノ五重奏団、Ensemble FOVE、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学講師、2021年Bartók World Competitionの弦楽四重奏部門審査員。www.amioike.art



## 安野 美咲（あとの みさき）ピアノ

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。卒業時に同声会賞を受賞。同大学院音楽研究科修士課程修了。第41回飯塚新人音楽コンクールピアノ部門第3位、併せて飯塚文化連盟賞受賞。これまでに濱本愛、山崎裕、角野裕、野原みどり、萩原麻未、クラウディオ・ソアレスの各氏に師事。令和5年度日本演奏連盟宗次エンジェル基金新進演奏家内奨学生。令和5年度奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門優秀共演者賞受賞。



## 清水 史（しみず ふみ）ピアノ

東京都出身。桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科2年修了。ウィーン国立音楽大学大学院歌曲伴奏科にて研鑽を重ねる。第9回横浜国際音楽コンクール一般A部門第1位。第33回奏楽堂日本歌曲コンクール優秀共演者賞受賞。これまでに桐朋学園大学声楽科及び指揮科嘱託伴奏員を務める。二期会公演『雪の女王』『午後の曳航』等、オペラ公演に音楽スタッフとして携わるなど、声楽・合唱伴奏を中心にアンサンブルピアニストとして精力的に活動している。



## 鶴田恵利花（ときた えりか）ピアノ

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。同大学院修士課程ピアノ専攻修了。学部卒業時に同声会賞を受賞。2011年～2013年度東京藝術大学大学院ティーチングアシスタント。ペスカーラ音楽院高等課程（イタリア）を修了。2011年第39回和歌山県新人演奏会にて特別奨励賞受賞。2015年よりピティナ公開録音コンサートに出演、ピティナピアノチャンネル（YouTube）に多数の音源を提供している。erika-tokita.com



## 藤江 圭子（ふじえ けいこ）ピアノ

相愛女子大学（現、相愛大学）音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。卒業後、武庫川女子大学音楽学部伴奏員として45年勤務。2011年8月【演奏生活35周年記念35人の歌手による35曲コンサート】、2016年8月【演奏生活40周年記念40人の歌手による40曲コンサート】、2022年8月【演奏生活45周年+1記念45人の歌手によるコンサート】を開催。第6回、第9回、第21回、第30回撰津音楽祭伴奏賞、2014年 第38回神戸灘ライオンズクラブ50周年記念特別音楽賞及び、第35回音楽クリエイティック・クラブ本賞受賞。



## 森 裕子（もり ゆうこ）ピアノ

東京藝術大学附属高校、同大学を経て、同大学院修士課程ピアノ専攻修了。シュトゥットガルト国立音楽大学留学、コンラート・リヒター氏に師事。チューリッヒ国際マイスタークラスでは、ブッフビンダー氏に師事。これまでに4回のソロリサイタル、声楽や器楽の共演ピアニストとしてまた邦人作曲家の初演にも多数多く携わる。第12、14、15回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門優秀共演者賞。第75、87回日本音楽コンクール木下本賞（共演賞）。東京藝術大学非常勤講師。



## 新実 徳英（にいみ とくひで）トーク

東京大学工学部卒業、東京藝術大学作曲科卒業。同大学院修了。1977年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールにてグランプリ並びにジュネーブ市賞を受賞。82年文化庁芸術祭優秀賞受賞。ISCMに入選。2000年第18回中島健蔵音楽賞受賞。03年別宮賞受賞。04年「風神・雷神」のCDが文化庁芸術祭大賞を受賞。05年万博記念オペラ「白鳥」が世界初演され、この公演に佐川吉男音楽賞が授与される。06年初演された「協奏的交響曲～エランヴィータル～」が第55回尾高賞を受賞。管弦楽作品の多くは、国内外の主要なオーケストラで演奏され、それぞれ高い評価を得ている。現在、奏楽堂日本歌曲コンクール運営委員長、作曲部門審査委員長を務める。



□ JR「上野駅」公園口 ..... 徒歩約10分

□ 東京メトロ銀座線・日比谷線  
「上野駅」 ..... 徒歩約15分

□ 京成「上野駅」 ..... 徒歩約15分

□ 台東区循環バス「東西めぐりん」  
「旧東京音楽学校奏楽堂」 ..... 徒歩約1分